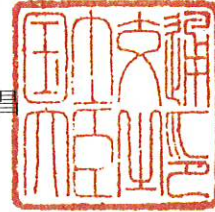


# 認定書

国住参建第 3256 号  
令和 7 年 2 月 3 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1309
2. 認定をした構造方法等の名称  
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん  
／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ271mm以下)
	面積	0.0577m <sup>2</sup> 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5～23mm
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		91.7%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ 75mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性 シート	使用箇所	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：3.18(±0.1)mm以上 幅：35mm以上(埋設部35mm以上)
		使用箇所	被覆材付配管又は配管の両側に1周以上巻き付け(突き合わせ又はオーバーラップ) ただし、ポリエチレン管に被覆材を用いない場合は2周以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ
		厚さ	0.18(±0.1)mm以下
	シート (本体)	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	3mm以上
		密度	
	裏面材 (配管側)	組成 (質量%)	
		材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム
充てん材	厚さ	0.05mm以下	
	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量	配管と躯体(壁)との隙間に密に充てん (壁の両側に22mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様					
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本当たり	2.8mm <sup>2</sup> 以下			
		総合計	6.2mm <sup>2</sup> 以下			
	総有機量	0.100kg/m以下				
	導体(又は芯線) の種類	銅、その他これらに類する不燃性の材質				
	シース	ポリオレフィン系	厚さ	0.5mm以下		
		ETFE樹脂系				
	介在(充てん材)	紙、綿糸、ポリオレフィン系、ジュート、又はなし				
絶縁体	ポリウレタン系	厚さ	0.3mm以下			
	ETFE樹脂系		0.5mm以下			
配管	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、 日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、PWA005、 配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格：PTC K 03、給水用ポリエチレンパイプ協会規格：JP K 001、 JP K 002、JP K 003)		外径	厚さ	φ125mm以下	11.4mm以下
	ガラス繊維強化ポリプロピレン管				φ114mm以下	9.5mm以下
	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (記号：VP、HIVP、VU、HT) (ただし、JISに規定する外径及び厚さ以外の 管については、規定された要求性能を満足するもの)				φ60mm以下	4.5mm以下
	結露防止層付硬質塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層				φ89mm以下	10mm以下
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798) (記号：RF-VP)				φ114mm以下	7.1mm以下

つづく

つづき

被覆材① (後付タイプ) (あり又はなし)	材料	①、②又は③ ①アルミニウムはく付グラスウール ②アルミニウムはく付ロックウール ③アルミニウムはく付セラミックウール							
	外径	φ 225(+10)mm以下(仕上り外径)							
	使用方法	必要に応じて、ポリエチレン管に巻き付けて使用							
	表面材	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①アルミニウムはく張りクラフト紙 ②アルミニウムはく張り割布 ③アルミニウムはく張りガラスクロス						
		基材	材料	①、②又は③ ①グラスウール(JIS A 9504) ②ロックウール(JIS A 9504) ③セラミックウール(JIS R 3311)					
			厚さ	50(+5)mm以下					
	密度	24(-3)kg/m <sup>3</sup> 以上							
被覆材② (後付けタイプ) (あり又はなし)	発泡ポリエチレン系	外径	φ 80mm 以下 (仕上がり外径)	厚さ	10mm以下				
	発泡架橋ポリエチレン系								
	発泡ポリウレタン系								
	発泡ポリスチレン系								
	発泡ポリプロピレン系								
	発泡フェノール系								
	発泡難燃ポリオレフィン系 (酸素指数 28 以上)								
	発泡合成ゴム系 (ニトリル、ブチルゴム)								
	グラスウール(JIS A 9504)								
	ロックウール(JIS A 9504)								
	セラミックウール(JIS R 3311)								
	使用方法					必要に応じて、配管(硬質ポリ塩化ビニル管)に用いる			

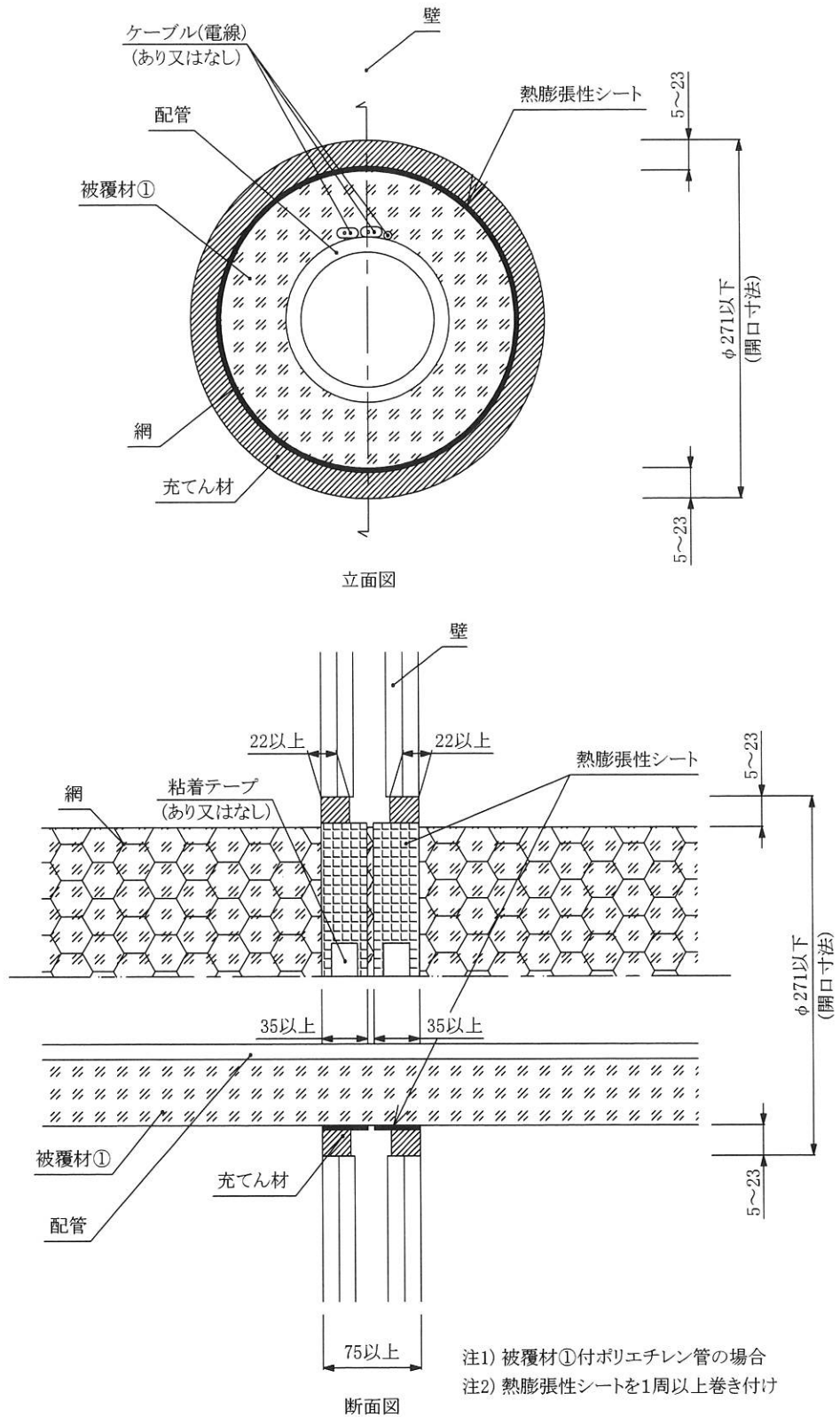
4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
粘着テープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑥の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリエステル系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系 ⑥ガラスクロス系
	寸法	厚さ：0.2mm以下、幅：50mm以下
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シート、被覆材①、ケーブルの固定に使用
網	材料	①～④の一 ①銅製 ②鉄製(塩化ビニル樹脂被覆付鉄線を含む) ③鋼製(鋼板製を含む) ④ステンレス製
	使用方法	被覆材①の表面に巻き付け

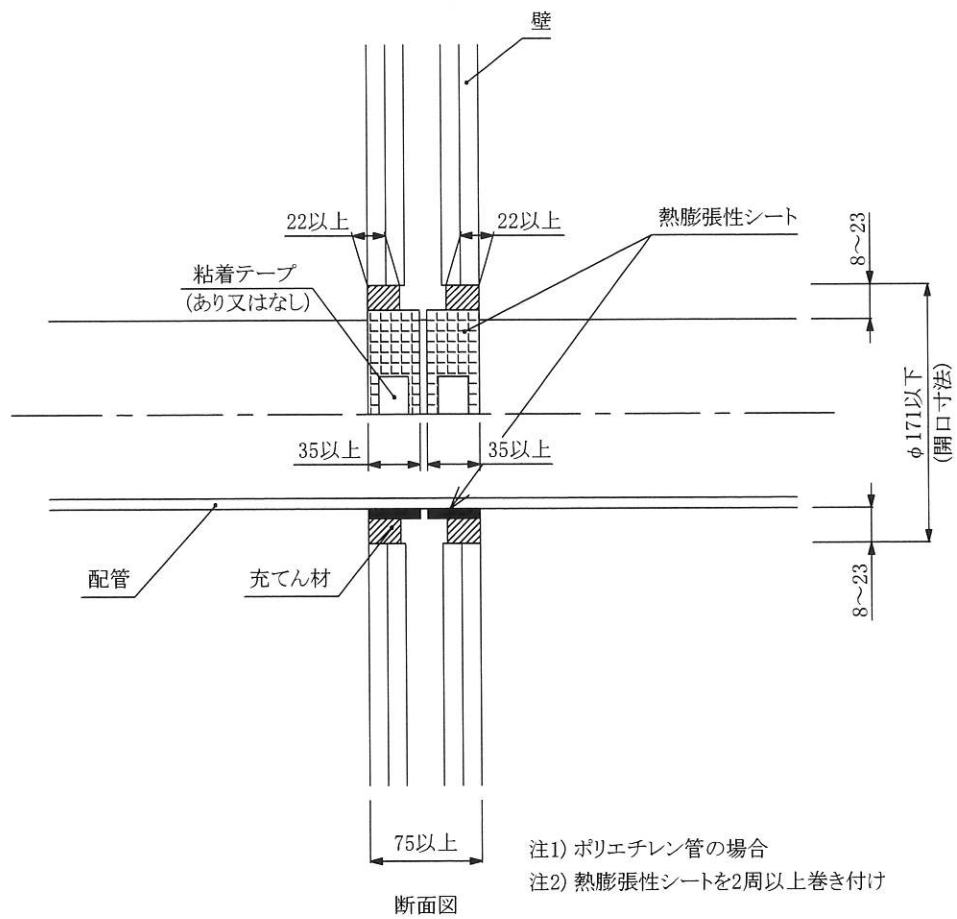
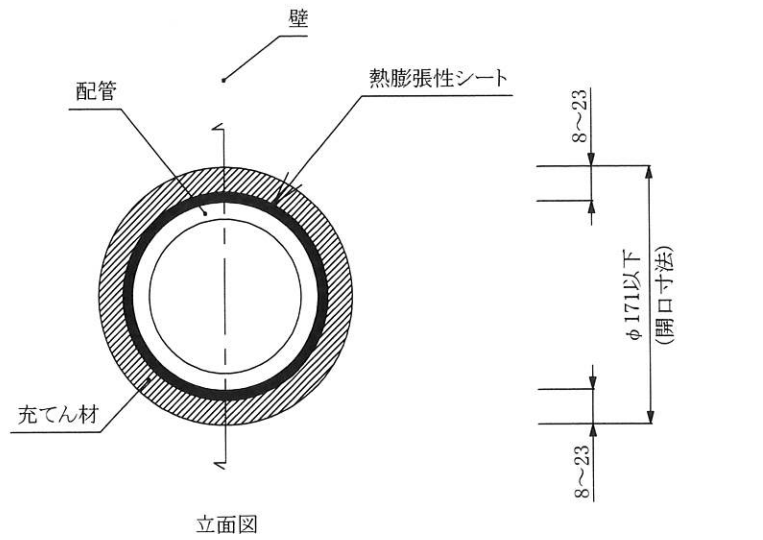
5. 構造説明図：  
 構造説明図を図 1～図 4 に示す。

単位 mm



被覆材①付ポリエチレン管の場合

図 1 構造説明図 (施工図)



ポリエチレン管の場合

図2 構造説明図 (施工図)



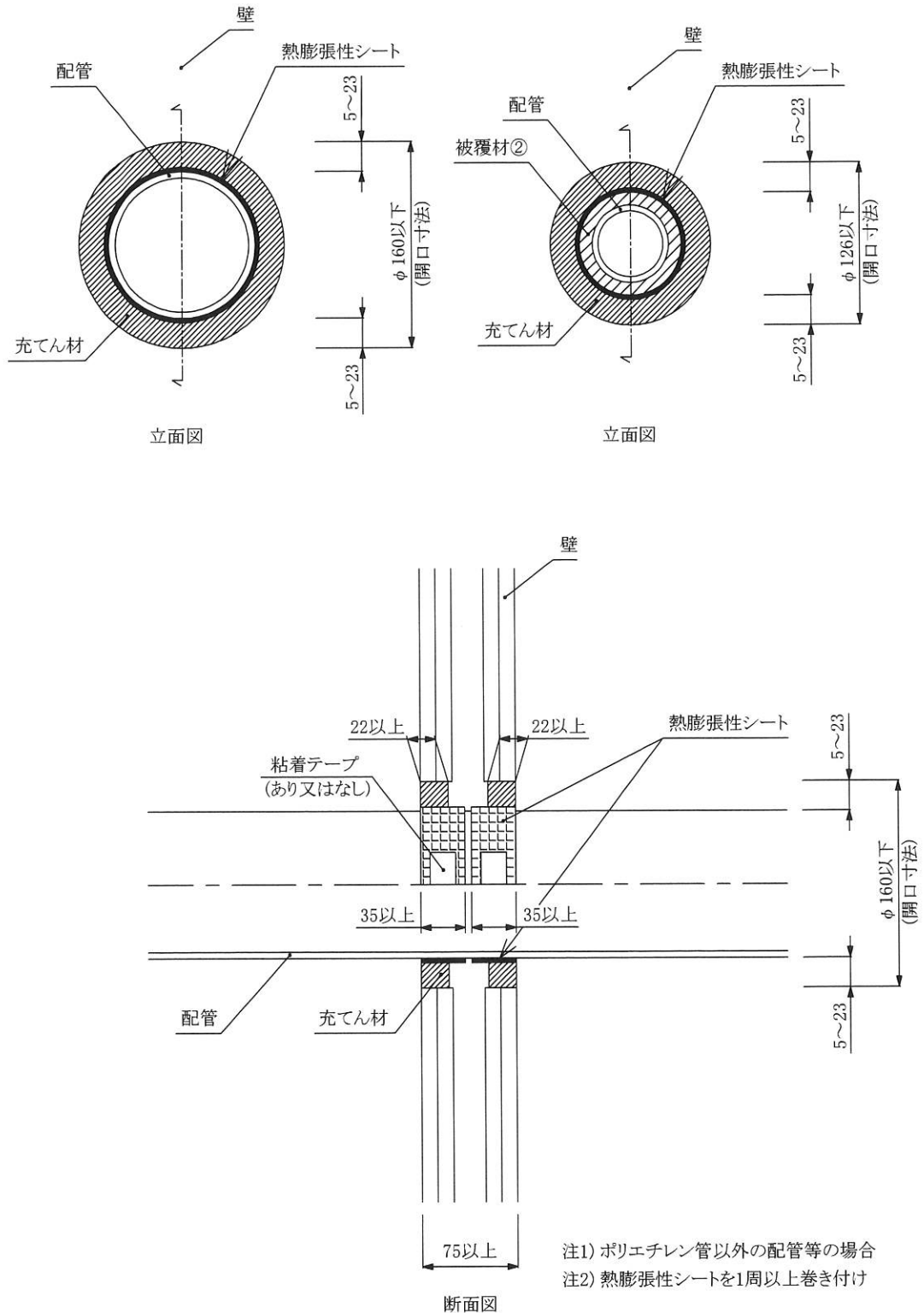
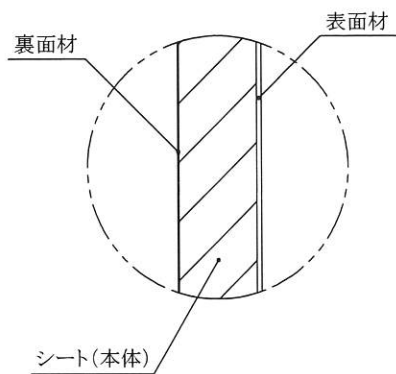
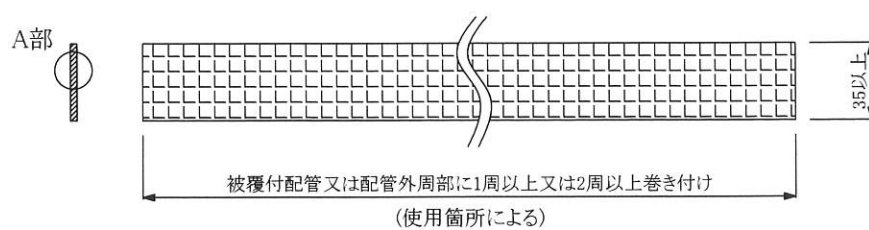


図3 構造説明図 (施工図)

単位 mm



A部詳細図

熱膨張性テープ詳細図

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 貫通穴の設定

ボイド管やコアドリル等を用いて貫通穴を設ける。

(2) 配管の設置

配管を設置して支持・固定する。

(3) 熱膨張性シートの巻き付け

熱膨張性シートを配管の両側に対して1周以上巻き付ける（突き合わせ又はオーバーラップ）。

ただし、ポリエチレン管に被覆材を用いない場合は配管の両側に対して2周以上巻き付ける。

必要に応じて粘着テープで熱膨張性シートを固定する。

(4) 熱膨張性シートの設置

熱膨張性シートを35mm以上埋め戻すようにスライドさせる。

熱膨張性シートの幅が35mmを超える場合は、超えた分が壁からはみ出ている良い。

(5) 充てん材の埋め戻し

熱膨張性シートと躯体の開口部の隙間に、壁厚方向22mm以上充てん材を密に充てんする。

埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。